

職員提案個別票

受付番号	11
提案件名	適正な文書管理のための文書主管課職員の巡回点検・指導の実施

(職員提案：提案者)

1	現状及び課題	<p>文書の管理については、各所属においてファイル基準表に基づきキャビネット等により保存・管理をしているところだが、中には保存年限を超える文書や本来保存が不要な書類が保管されていたり、いたずらに継続書類扱いになっているものもある。このような状態になってしまっている大きな要因に、職員のファイリングについての知識不足が挙げられる。</p> <p>こうした状況は、執務環境を悪化させるとともに、日常の事務執行においても効率性を下げているものと推測できる。</p> <p>については、公文書の適正な文書管理を図るとともに執務環境の改善に努め、もって効率且つ適正な事務執行を行うための提案をする。</p>
2	提案内容	<p>文書の保存・管理について、以前は文書所管課でファイリングシステムについての研修や、保存文書の引き継ぎに際し説明会を実施していたが、現在は行われておらず、各所属でのOJTが中心となっている。</p> <p>については、文書所管課職員が各所属を巡回（各所属への巡回は、2～3年に1回程度）し、実際に各所属のキャビネットや書庫と併せ、職場に置かれている各種書類、冊子等も含め点検及びファイリング指導を行う。</p> <p>研修会ではなく、実際に書類を確認しながら実践することで改善に即効性があり、職員のファイリングについての理解も進むと考えられる。</p>
3	予想される効果	<p>適正な文書管理は無論のこと、手狭な執務環境の改善、適正で効率的な事務執行、防災対策、安全対策上の措置が図られる。</p>

審査会の実施等に関する所見	実施することが適当であると認められる
---------------	--------------------

ほう賞対象	実施指示
○	○

職員提案個別票

受付番号	18
提案件名	パスワード付きUSBメモリの使用義務化

(職員提案：提案者)

1	現状及び課題	<p>近年、USBメモリの紛失により情報資産を漏洩するセキュリティ事故が多発している。人間がものを扱う以上、ヒューマンエラーが0になることは無いので、未然に事故を防ぐ環境・仕組の構築、あるいは事故が起こった時の被害を最小限に留める対策を講じることは喫緊の課題である。</p> <p>本市におけるUSBメモリ（記録媒体）の管理については、伊勢原市電子計算組織管理運営規程第13条3項において、次の通り規程されており、基本的には外部に持ち出すことは禁止されているが、一部例外が認められている。</p> <p>(参考)</p> <p>伊勢原市電子計算組織管理運営規程第13条 3記録媒体及びドキュメント等を実施機関の執務室以外に持ち出してはならない。ただし、次に掲げる場合は、この限りでない。</p> <p>(1)法令の規定に基づいて取り扱う場合 (2)事務の目的を達成するために、相当な理由があると認められる場合</p> <p>USBメモリは、所属長と情報システム課への申請・承認があれば利用可能となるが、その際にUSBメモリのセキュリティ機能のチェックまでは行っていない。そのため、パスワードロック等のセキュリティ機能を有していないUSBメモリは紛失時にすぐにデータを読み取られてしまう。</p>
2	提案内容	<p>市で使用するUSBメモリは次の機能を備えたものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスワードロック機能 ・一定回数以上パスワードを間違えた場合は、USBメモリ内のデータを全て消去するか、ロックする機能を持つこと。
3	予想される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・執務環境の改善（情報セキュリティの強化）

審査会の実施等に関する所見	実施することが適当であると認められる
---------------	--------------------

ほう賞対象	実施指示
○	○

職員提案個別票

受付番号	31
提案件名	IGネット内インフォメーションによる職員研修案内のメリット揭示

(職員提案：提案者)

1	現状及び課題	能力開発等の貴重な機会である職員研修について、参加者数が定員を割ってしまう研修がある。また、市町村アカデミーや自治大学など予算を確保する研修については、参加者確保が課題である。
2	提案内容	IGネット内インフォメーションによる職員研修案内について、過去の研修参加者の研修報告書より「参加してよかったこと」を抜粋・揭示し、研修参加の意欲を向上させる。
3	予想される効果	職員研修参加率の増加による職員の能力向上

審査会の実施等に関する所見	実施することが適当であると認められる
---------------	--------------------

ほう賞対象	実施指示
○	○

職員提案個別票

受付番号	33
提案件名	会計事務の改善・支出命令書中請求書欄の入力を不要とする

(職員提案：提案者)

1	現状及び課題	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度までは、各債権者（業者）へ振込予定通知が送付され、この通知書に「請求書番号」を記載することで、債権者（業者）容易に照合することができるように、債権者に対するサービスとして実施されてきましたが、昨年度（平成27年度）からは、郵送代等の削減のため、この通知書の送付は廃止されました。 このため、支出命令書に入力された「請求書番号」は活用されていないにも関わらず、現在においてもこの欄の入力は、会計事務上の必須条件とされ、各所属において、各担当者が請求書に記載された番号を正確に入力・確認し、管理監督者が再度確認して、さらに会計課職員が、入力に誤りないか確認し、誤りがあった場合には、所属課に返付され、修正作業が行われています。 仮に債権者（業者）から、請求書番号による振込日の問い合わせがあったとしても、それは希なケースであると考えられるため、そのために無駄な作業を各課に強いるべきではなく、問い合わせへの対応方法を別途検討するべきであると考えます。（金額や業者名、担当課名などによる検索などで対応は可能です。）
2	提案内容	支出命令書請求書欄の請求書番号の入力を不要とする。
3	予想される効果	支出命令書請求書欄の請求書番号の入力を不要とすることで、各所属における会計事務の省力化が図られることはもとより、会計課の審査項目を減らすことにより、会計課における事務負担の軽減につながると考えます。

審査会の実施等に関する所見	実施することが適当であると認められる
---------------	--------------------

ほう賞対象	実施指示
○	○

職員提案個別票

受付番号	34
提案件名	会計事務の改善・会計課への伝票提出時間を「午後5時まで」可能とする

(職員提案：提案者)

1	現状及び課題	<ul style="list-style-type: none"> ・会計課への伝票提出時間は、「午後4時30分まで」とされており、この時間を過ぎた場合には、原則その翌日に改めて提出することになります。 ・会計課に提出された伝票類は、受付印を押印した上で仕分けされ、後日審査が行われます。つまり、提出された当日は例外を除いて、押印仕分け作業のみとなります。 ・提出可能な時間を「午後4時30分まで」とする理由はないため、他の業務と同様に「午後5時まで」とするべきと考えます。
2	提案内容	<p>会計課への伝票提出時間を「午後5時まで」可能とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計課の事務処理としては、従前どおり「午後4時30分」を1回目の受付作業として、「受付印押印・仕分け」を行い、午後5時に2回目の受付作業を行えば、十分可能であると考えます。また、16:30～17:00の間の提出が、処理不可能なほど大量であることは想定されないため、会計課の事務負担が増加することはありません。(平成24年度の受付時間は、午後5時まででした。)
3	予想される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・各所属課においては、翌日に見送っていた伝票類を提出することができるとともに、債権者への支払期目を早めることが可能となります。 ・会計課においても、できるだけ早く伝票類の提出を受けることにより、事務作業の効率化を図ることができます。 ・さらに、このような事務の効率化を図ることにより、一度は後退した「伝票提出期限の短縮化」を改めて進めることも可能になると考えます。 <p>※支払データの伝送システムを導入した時の行革の効果として、平成24年度に、各課からの伝票提出期限を「7日前」から「6日前」に短縮しましたが、現在は事務処理上の理由から「7日前」に変更されています。</p>

審査会の実施等に関する所見	実施することが適当であると認められる
---------------	--------------------

ほう賞対象	実施指示
○	○

職員提案個別票

受付番号	36
提案件名	第49回伊勢原観光道灌まつりの新企画について

(職員提案：提案者)

1	現状及び課題	◇子どもをメインターゲットにしたアトラクションが少ない印象を受ける。 ◇南口エリアの賑わいが北口エリアに比べると寂しい印象を受ける。
2	提案内容	【企画名】 わんぱくキッズキングダム (仮) 【概要】 ◇南口エリアにおいて、子どもをメインターゲットにしたアトラクション及びイベントゾーンを展開する。 ◇エアージャンピングやバルーンアート、ミニSLなどのアトラクションやスイーツや景品くじなどの露天商を配置する。
3	予想される効果	◇子どもをメインターゲットにすることで家族単位での来場が見込まれ、更なる誘客が見込まれる。 ◇当該イベントゾーンを中心に、南口エリアの賑わいを強化し、まつり全体としての活性化を図る。

審査会の実施等に関する所見	将来十分検討することが適当であると認められる
---------------	------------------------

ほう賞対象	実施指示
○	—